

防災を考える日

～8月のテーマ「津波から命を守る」～

内容

- 1 今月のテーマ
- 2 津波の基礎知識
- 3 津波から逃げる時は

"津波の際に取るべき行動を確認しましょう。津波の特徴を知り、正しい知識のもとに避難することが大事です。"



「大地震それ来るぞ大津波」
気仙沼市鹿折 大浦地区の
大震嘯災記念碑(昭和三陸地震津波)

気仙沼市総務部危機管理課

988-8501

宮城県気仙沼市八日町1-1-1

電話番号:
0226-22-3402

FAX 番号:
0226-22-1467

電子メール:
kikikanri@city.kesenuma.lg.jp

今月のテーマ

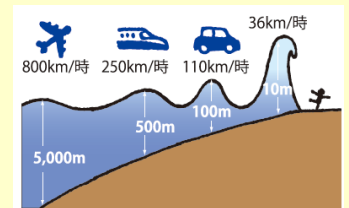
「防災を考える日」の今月のテーマは、「津波から命を守る」です。

前回のテーマは、「地震発生その時」ということで、地震発生時の行動をお知らせしました。

今回は、津波から身を守るために必要なことについて、家庭や学校、職場、地域で話し合いました。

津波の基礎知識

- ◆地震の後は必ず津波に注意！
- ◆地震を感じなくても津波が来ることがある！明治三陸地震津波では、地震の揺れは弱かったにもかかわらず大津波が押し寄せました。
- ◆津波はとても早い！水深 5,000m では
 時速 800 km(ジェット機なみ)、水深 500mでは、
 時速約 250 km(新幹線なみ)の速さです。
- ◆津波は海岸に近づくとき高くなる！三陸海岸のような地形では急激に高くなります。どんなに高い堤防でも越えてしまう可能性があります。
- ◆津波の前に潮は引くとは限らない！潮が引かず、突然、津波が襲ってくる場合があります。
- ◆津波は繰り返し襲ってくる！2 波、3 波・・・と繰り返し襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまで避難先にとどまりましょう。
- ◆津波は、陸上では漂流物を巻き込み浸水！浸水深が浅くても危険です。
- ◆津波火災にも注意！避難後は津波火災にも注意しましょう。



津波から逃げるときは

- ◆強い地震や弱い地震であっても長い時間ゆっくり揺れる地震の時は、すぐに高台へ避難しましょう。
- ◆揺れを感じなくても津波警報・注意報が出たら迷わず高台へ避難しましょう。
- ◆避難は「徒歩」が原則です。より高いところを目指し避難し、情報を待たず「率先避難」と「声かけ」を心がけましょう。
- ◆貴重品は取りに戻らない、船などを見に行かないようにしましょう。戻る人がいたら呼び止めましょう。
- ◆津波警報や注意報が解除されるまで、安全な場所にとどまりましょう。